一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務 平成 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更 25 務事業 名 国民健康保険特定健診事業 予 算 事 業 名 担 課 町民生活課 算 科 目 名 会 計 称 国民健康保険特別会計 予 8 款 項 目 所 属 長 森 裕子 名 すべての町民が健やかに暮らせるまちをつくる 担当責任者名 (記入者) 阿部 哲也 総合計画での づ 位 置 ゖ 電話番号 (内線) 事 業 の 性 □ 法定事務 格 ■ 内部管理事務 法令根拠等 高齢者の医療の確保に関する法律 【開始年度】 平成 20 年度 事業の対象 国民健康保険加入の40歳以上74歳以下の方 実 施 期 間 平成 【終了年度】 年度(予定) ■ 設定なし 事業の目的 特定健診の受診及び特定保健指導により生活習慣病を予防する 事業の内容 特定健康診査及び特定保健指導 改善策の具体的 改善策の具体的 健康福祉課保健師と連絡を密に行い、対象者へ勧奨し受診率を 取り組み 取り組み(当初) (二次評価後) (千円) 及 7 Š 源 内 訳 活 動 の 実 活 指 年度予算 9月末の執行状況 単位 | 24 年度実績 | 25 年度予定 | 9月末の実績 | 25 年度実績 年度決算 25 25 年度決算 項 目 接 4,908 直 事 業 費 4, 334 4, 334 145 141 141 特定健康診査等事業費 千円 4908 4334 4334 費 費 5, 053 4, 475 4, 475 合 計 国 庫 支 出 金 1,470 1,440 1,470 支 出 金 1,440 1, 441 1,441 特定健康診査受診率 % 70.8 70.0 63.8 源 債 地 方 の 他 訳 1, 564 般 財 源 2, 173 1,564 1 0.02 0.03 人 工 数 0.02 ②人件費単価 7, 289 7,073 7,073 務 ③補助事業人件費 141.46 人件費(①×2-3) 145.78 141.46 26 年度 27 年度 28 年度 29 年度 30 年度 5年間の合計 向こう5年間の直接事業費の推移 (千円) 4,500 4,500 4,500 5,000 5,000 23, 500 目標 29 年度 区分年度 24 年度 25 年度 26 年度 特定健診受診率 成果指標 実 績 70.8% 63.8% 指標設定 特定健診受診率70%を目指し、平成29年度受診率7 の考え方 1%の達成へ向かう 66.0% 70.0% 70.0% 71.0% 目 標 今年度の課題への 国保担当課だけではできない事業なので、健康福祉課と協同し行っている 対応状況 (途中経過) 施策の目的そのものである。 ·斉検診の年以外の年でも健診率が確保できる ように、健康福祉課と協同して対策を練り事業 目的の妥当性 施策の目的に沿ったものである。 5 合計点が を行う 施策の目的に全くそぐわない。 事 自 自 町民ニーズに直結する。 町民ニーズへの対応 受益者のニーズは捉えている。 10~13 : B 妥当性 5 Α 己 8~ 9 : C 町民ニーズを捉えたものと言えない 5~ 7 : D 己 町が積極的に関与すべきものである。 評 3~ 4 : E 町の関与の妥当性 今のところ関与は妥当と判断できる。 5 町が関与すべきでない。 価 町民がおおいに満足している。 മ 事業の効果 町民がほぼ満足している。 5 務 合計点が 町民が満足していない 具体策が明確で、成果実績が向上している。 14~15 : A 担 有効性 成果向上の可能性 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 10~13 : B 課 5 Α 8∼ 9 : C 問題を解決できる目処が全く無い。 5~ 7 · D 施策推進への貢献は多大である。 当 3~ 4 : E 施策推進に必要である。 施策への貢献度 5 題 施策推進につながらない 責 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 事 手段の最適性 計画・手段が効率的である。 任 合計点が 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。 認 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 14~15 : A 者 効率性 コスト効 率 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 10~13 : B Α 8~ 9 : C 成果実績に対して、予算額が過大である。 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 5∼ 7 : D 識 3∼ 4 : E 適当な受益者負担と判断できる。 受益者負担の適正 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい 業 施策の目的そのものである。 健康福祉課との連携により、住民の健康に対す 目的の妥当性 施策の目的に沿ったものである。 る意識を改革し、医療費の削減に繋がるよう今 5 合計点が 後も努力してい 5 町民ニーズに直結する。 14~15 : A 妥当性 町民ニーズへの対応 受益者のニーズは捉えている。 5 10∼13 : B Α 8~ 9 : C 次 町民ニーズを捉えたものと言えない。 属 5∼ 7 : D 町が積極的に関与すべきものである。 3∼ 4 : E 今のところ関与は妥当と判断できる。 5 町の関与の妥当性 の 評 町が関与すべきでない。 長 町民がおおいに満足している。 事業の効果 町民がほぼ満足している。 5 価 合計点が の 具体策が明確で、成果実績が向上している。 14∼15 : A 成果向上の可能性 有効性 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 5 10~13 : B Α 8~ 9 : C 5~ 7 : D 問題を解決できる目処が全く無い。 課 施策推進への貢献は多大である。 評 3∼ 4 : E 所 施策への貢献度 施策推進に必要である。 5 施策推進につながらない。 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 題 属 計画・手段が効率的である。 手段の最適性 5 合計点が 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない 認 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 長 14**∼**15 : A 10~13 : B 8~ 9 : C 効率性 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 コスト効率 5 Α 成果実績に対して、予算額が過大である 5∼ 7 : D 価 識 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 受益者負担の適正 適当な受益者負担と判断できる。 5

コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。

		平成	25	年度 事務事業詞	平価シート(裏面)	新規	継続	変更		<u></u>	一般ソフ	/卜事業	施設等維持管	理	行政事務	
	多事 第			険特定健診事業 	予算事			+4 -	=	1		担 当 r E			町民生活課	<u> </u>	
	計名		国民健康保	 候特別会計 民が健やかに暮らせる	予算 まちをつくる	科 目	8	款	「 項	- 1		所 属 当責任者名	長 名 (記入者)		森 裕子 阿部 哲也		
	置が	け E 格	■ rtu	部管理事務	□ 法定事	纹			注	艮拠等		話番号		関する法律			
						' 55						<u>いる源り</u> 台年度】		39 公伝律 20 年度			
事	美の 対	丁 家	国民健康保	験加入の40歳以上7	4歳以下の方				美 施	期間	【終了	了年度】	平成	年度(予定)		■ 設定な	: L
事業	事業の目的特定健診の受診及び特定保健指導により生活習慣病を予防する 事業の内容 特定健											康診查及	及び特定係	R健指導			
此	善集策の具体	k Atı								策 の具体的 健康福祉課保健師と連絡を密に行い、対象者へ勧奨し					野)	然を	
	組み(当		(=							取り組み (表別であげる) あげる						人 じ 文 	ي -
	自	妥当		の 妥 当 性 5 ーズへの対応 5	A						A	5 5	+	の 妥 当 性 - ズへの対応 - ギ	妥当性	_	
担	担		町の関与の妥当性 5 5							5	町の関	与の妥当性	× ¬ ı ı	۰,			
主	当 己 有効		事業の効果 5 佐果向上の可能性 5 A 5 A							5		の 効 果 上の可能性	 有効性	次			
任	評		施策~	の 貢献 度 5		=						5		・の 貢 献 度		評	
者)	/ 	効率		の 最 適 性 5 ト 効 率 4	A						A	5 5	ま 段 コ ス	の 最 適 性 ト 効 率 3	効率性	/ ==	
	伝統診の包	三川州の		負担の適正 5 率が確保できるように	健康短光調					健康/5-	紅卸 レガ	5 油堆に		負担の適正 民の健康に対する		活	\blacksquare
課と協	お同して対	対策を練	年でも健診	ナルTHEMにさるよりに う	、 唑冰油性球	 ₁ 白:	己評価は、	担当者が		療費の	川減に繋	をがるよ	う今後も	式の健康に対する 努力していく。	い 忌 哦 で 以	手し、広	課
題						(一)に	事業推進を に進めたか	効率的効	果								題
						価	したもの。										
認						己	次評価は、 評価を踏ま 進を念頭に	えて施策	മ⊸∖								認
識						長	が評価した	もの。	<i>y</i>								識
	T		T														
				一次評価結果より以下の	 の点について良好	と評価し	更なる事	事業推進	・求める。								7
				Seat managed states	7.M.1-2-0 CZ/3	C 11 1111 C	~ ~ ~ ~ ~ ~	- >10 112 22 0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
施	=	<u>.</u>															
策	次	ζ	<u> </u>													-1 -1 -1 -110	
		_	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。										$-\parallel\parallel$	指摘事項を踏ま	年度の事	殇事業評 価	€ 5
を	評	<u>ī</u>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加す											シートに反映さ	せること。	•	
踏	個	ī															
ま																	
6		`															
え	所	ŕ		一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。										\h=\tau + \h	 -1		
<i>t</i> =	た属												一次評価をやり 月 日	直し、 までに事	務局へ		
													提出すること。	_			
判	判長				7 2 4 4 4 4 - 2 2 2	== '=-				h 7 :							
断	断		□ 町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。 □ 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。										行政評価委員会	で評価する	る。		
			□ 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 □ □ 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。									$+$ \parallel \perp $/$	答申期限:	月	日		
																_	
% =			答申の														
行政	外		<u> </u>	Marian A : 計画どおり	事務事業を進め	ることだ	が適当であ	る。】									7
評価	剖	3	\1> -1 -	光け「吐びとし、 ~!!!	生し レーヤンコ	o, + ·	, N. 17 12 1	n ^=	118 = 7 1	大皿用力	リテュ イメ・	~ 7. <i>~</i> 1-	: 13 小士 ***	マキュ 上戸 :	7.014	7 1 1-	
価委員・			アップ	当事業は「町おこし」の施策として考えるべきレベルであり、全国どころか世界的にも稀にみるほどの事業である。内容もその後のフォローアップも充実したこの健診を広くアピールし、受診者を増やす工夫をされたい。 なお、未受診者については分析を行い、ターゲットを定めて広報戦略をたてていただきたい。町の魅力として人口増に結びつくことを期待す													
会 評 なね、木叉砂有についてはカ州を打い、ターケットを足めて広報戦略をたてていたださたい。町の魅力として入口指に の る。									、八口垣に桁()	ノ、ことを	- 391寸 9						
答 申	佃	ī															
]																
			事業の	方向性		_		コメン	ト欄	_	_	_]
経			□ さらに重点化する。														
	経営者会議			□ 現状のまま継続すん	Z		7										
	会 議			□ 現状のまま継続する	v 0		_										
	の 最			□ 右記の点を見直しの	の上、継続する。												
	の 最終 判				する。												
	断				を検討する。												
				ニー・チネッドエ、先上は	- 10 HI 1 O 0												